

*** すてきな宜野湾中、愛される宜野湾中、誇れる宜野湾中 ***

～ 宜野湾中学校で、社会人になった時に必要な「生きる力」を身に付けよう! ～

ねんじゅうむきゅう

年中夢求

学校だより
令和3年度 6月号

令和3年6月25日(金)
宜野湾市立宜野湾中学校長 原田 利明

中頭地区中学校総合体育大会

バドミントン女子団体優勝 卓球男子・女子 団体 準優勝 ハンドボール 男子 3位



6月5・6日、地区中体連が開催され、上記の部活に加え、次の部活が県大会へ進出しました。

ソフトボール女子、ハンドボール女子、野球(大会途中、現在ベスト8)

**テニス男子シングルスベスト16 近藤凌平、女子ダブルスベスト16 池原柚佑・我那覇美海
卓球女子シングルスベスト田畑優希、男子シングルスベスト16 藤波雄大**

残念ながら敗れた部活も、全力を発揮、充実した大会となったようです。お疲れ様!! まだ、大会途中のサッカー、野球、バドミントン個人戦、「今、ここ、自分」と「宜野湾魂」を発揮してがんばれー!!

※ 宜野湾中学校ホームページではカラーでご覧いただけます!!

裏面につづく➡

令和3年度 生徒総会!!

令和3年度 生徒会活動テーマ

考進

このテーマを達成するために
①「考動」自分で考え、行動する
②「積極性」協力、進んで動く

5月28日5校時に、令和3年度生徒総会が開かれました。今年もコロナ対策のため各教室での実施となりましたが、放送による説明と、動画による説明及び質疑への回答、掲示による質疑への回答と、生徒会が工夫し、全生徒に分かりやすく、また、全生徒が参加した形で実施されました。その結果、今年度の生徒会年間スローガンが「考進」と決定し、考えて行動する「考動」と、協力し進んで動く「積極性」に取り組みスローガン「考動」を達成していくことが確認されました。

各専門委員会の活動計画や質疑への回答は、各専門部長がビデオ動画にテロップ入りで収録して行われました。生徒会役員の皆さん、コロナに負けず、いろいろなアイデア・工夫ありがとうございました。

また、継続審議となった校則に関し、議論、意見の収集、生徒会としての意見の集約をお願いします。

校長講話

○ 羽生結弦選手が、強敵パトリック・チャン選手を倒すために考え実践したことは、「今、ここ、自分」に集中すること!!

☆ 今とは ⇨ 今やらないといけないうちに集中しているか、先のことをあれこれ心配してしまっていないか。ということ!!

☆ こことは ⇨ この場所、この場面に集中しているか。ということ!!

☆ 自分とは ⇨ 自分自身に集中しているか。いろんな事を人のせいにしていないか。ということ!!

○ 羽生結弦選手が、エキシビジョンでよく使っていた 指田郁也(さしだ ふみや)さんの「花になれ」という歌に、次のような歌詞がある

☆ 足下のその花でさえ 生きることを迷いはしない 「生きてゆけ」

まっすぐ咲く花のように 人はだれも強くなれる

その命は強く輝く、風に立つ一輪、僕たちも花になれる

※ これは、みんな、「花形スターになれ!!」と言っているのではなく、

平凡でもいい 一生懸命がんばって 自分の命をいっばいに輝かせて 生きていけ!!

一人一人が自分の花をしっかりと咲かせるんだ!!・・・と言っている!!

○ 相田みつをさんの「自分の花」という詩に

名もない草も 実をつける いのちいっばいに 自分の花を咲かせて・・・とある。

○ 彼らが伝えたいことは

☆ 一生懸命がんばって生きていけ!! 失敗しても、反省して成長すればいい。

☆ 夢を持って!! 夢は変わっていてもいいが、持ってなければ見つける努力をしろ!!

☆ 「今、ここで、自分がやるべきこと」を強く意識していこう!!

☆ どんなことがあっても「宜野湾魂」を発揮して、最後まであきらめないでがんばろう!!
ということ。・・・学校でも、自分で立てた「3つの目標」をがんばろう。

子ども達の感想から 3年1組 友寄 優季

今日の校長講話「花になれ」を聞いて思ったことは、今、自分たちにとって大切なことは「今、ここ、自分」なんだなということ。自分の事をちゃんと考え、今に集中、ここに集中、自分に集中を意識することが大切で、それを意識する事で、自分自身の気持ちに勝てるんじゃないかと思いました。指田郁也さんの歌詞にもあったように「あきらめなで、どんな明日も 苦しいほど その命は輝く」。あきらめたらそこで試合終了。あきらめないことがどんなに苦しくても、その命は誰よりも強く輝く。ということなんだなと思いました。私も、強く光り輝けるように精いっぱい努力したいです。